

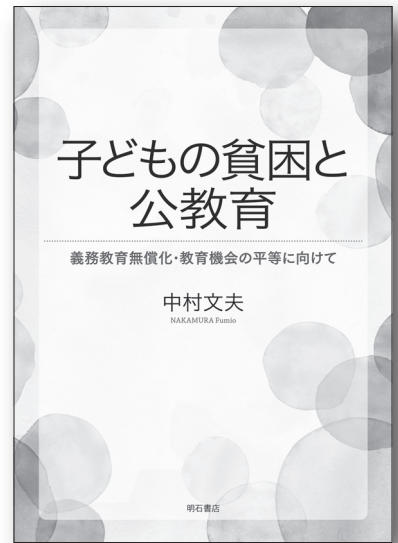
子どもの貧困と 公教育

義務教育無償化・教育機会の平等に向けて

中村文夫 [著]

●定価(本体価格2,800円+税)

A5判/並製/240頁 ISBN978-4-7503-4305-1



◆著者略歴◆

教育行財政研究所主宰、専修大学非常勤講師。専門は教育行財政学、学校事務論、教育施設環境論ほか。主な著書に、『公教育における包摂と排除』(共著、八月書館、2008年)、『公教育改革への提言』(編著、八月書館、2011年)、『学校財政』(単著、学事出版、2013年)、『市場化する学校』(編著、八月書館、2014年)など。

新自由主義的な日本の教育再編のなか、「子どもの貧困」「学校統廃合」「学校職員の非正規化」が深刻な問題となっている。本書は、これら三つの課題に対して、教育行財政からのアプローチを試み、普遍主義の立場から教育福祉を構築していくことを模索する。

◆内容構成◆

はじめに——子どもの貧困、学校統廃合、学校職員の非正規化

1 子どもの貧困の現状と課題

- (1) 子どもの貧困率 16.3%という現実
- (2) 現行の選別主義的施策
- (3) 戦後の子どもの貧困対策と就学奨励

2 戦後公教育体制の解体と3つの課題

- (1) 安倍政権による戦後公教育の解体
- (2) 子ども、地域、学校

3 新たな選別主義的施策

- (1) 「学歴・学力保障」に向かう選別主義施策
- (2) 「学歴・学力保障」政策の具体的な展開
- (3) 足立区の「2015年子どもの貧困対策元年」

4 普遍主義の進展・義務教育の無償化

- (1) 学校財政の脆弱性
- (2) 義務教育の無償化への展望
- (3) 高校授業料の無償化

5 学校統廃合

- (1) 学校設置と統廃合の戦後史
- (2) 文科省の路線転換
- (3) 地方創生と学校の統廃合
- (4) 都市部における学校統廃合
- (5) 脱統廃合

6 学校職員の非正規化と外部化

- (1) 学校職員構成の変容
- (2) 教員の多忙化の現実と理由
- (3) 学校スタッフ職の非正規、官製ワーキングプア化
- (4) 21世紀ピラミッド型学校職員雇用
- (5) 公設民営学校と教育バウチャー

おわりに——公教育の再生、展望と課題

明石書店 TEL.03-5818-1171
FAX.03-5818-1174
〒101-0021 東京都千代田区外神田6-9-5
図書目録送呈 <http://www.akashi.co.jp/>

ご注文方法

◎最寄りの書店へ、このチラシご持参の上、ご注文ください。
◎直送ご希望の方は、電話またはFAXで弊社へお申し込みください。
代金引き替え郵便でお送りします。代金は配達の方にお支払いください。
書籍代(本体価格+消費税)に加え、送料として一律300円かかります。

番線印
フリガナ お名前
ご住所 〒
冊

子どもの貧困と公教育

義務教育無償化・教育機会の平等に向けて

中村文夫 [著]

●定価(本体2,800円+税)
ISBN978-4-7503-4305-1

フリガナ TEL

ご住所 〒

明石書店

TEL 03-5818-1171
FAX 03-5818-1174